

今月の御教え

先祖代々からのご無礼があっても、食べる物の初穂を供えて、お断りを言えば許してくださる。道の立たない御霊でも、願えば道を立ててくださる。何事も失態のないように、成就するようにと、天地金乃神にすがればよい。

……「天地は語る」第六十四条……

解説

私達は困難に出会った時、これまでの自分の言動を振り返り、改まってこそ、苦難を克服する道が開かれてくるのですが、それでも、自身の改まりだけでは、どうしようもないことがあります。では、どうすればそのような困難を乗り越えられるのでしょうか。それは、私達がこうして生まれてきたのは、親先祖あったのことであり、ご先祖なくして私達の存在はありません。しかし、多くの先祖達の長い歴史において、誰がどのような過ちを犯しているか分かりません、それらのご無礼も子孫に受け継がれてくるのであります。故に、私達は、ご先祖の恩恵に感謝するとともに、ご先祖に代わって、その過ちご無礼を神様にお詫びし、お断りをしなくてはならないのです。そして天地の親神様は、一心にお詫びしお断りをすれば、お許し下さり、ご先祖の御霊を救って下さるのであります。そして先祖が救われれば、私達の苦難も克服する道が開かれてくるのであります。